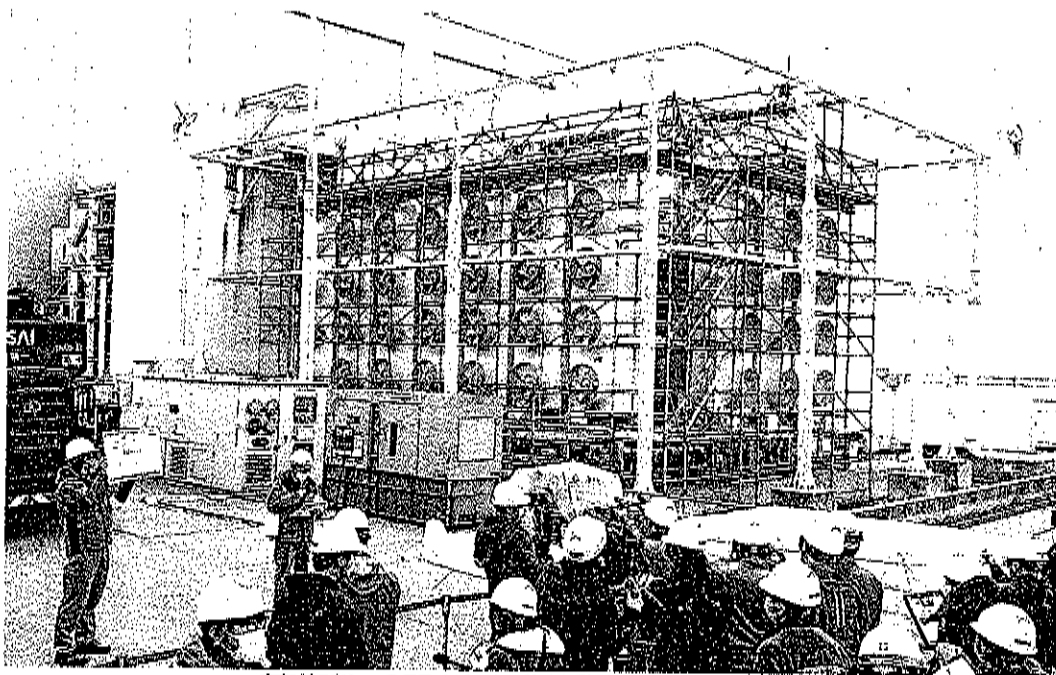


## 外部電源の一部 復旧は見通せず

### 志賀原発内部公開

北陸電力は7日、能登半島地震で変圧器が故障するなどの被害が出た志賀原発（石川県志賀町、停止中）を、地震後初めて報道陣に公開した。外部電源の一部が使えない状況が続いてお



報道陣に公開された北陸電力志賀原発2号機の変圧器＝7日午後、石川県志賀町で

り、復旧の見通しは立っていない。公開後に取材に応じた北陸電の中田睦洋原子力部長は「最大の課題。何か手はないか一生懸命検討している」と述べた。

公開したのは油漏れが起きた1、2号機の変圧器計2台や、地震の揺れで水があふれた使用済み核燃料プールなど。2号機の変圧器の故障が原因で、5系統あ

る外部電源のうち2系統が使えなくなっている。北陸電によると、2号機の変圧器は2月に内部点検を終えたばかりで、補修方法の検討が続いている。1号機の変圧器は壊れた部品を交換、2月に仮復旧し、本格復旧は8月になる見通し。

公開が地震から約2カ月後となったことについて、北陸電は「余震のリスクが高く、インフラの復旧も進んでいなかったため、安全面を配慮した」としている。

1月1日の地震で志賀町では震度7を、1号機地下では震度5強を観測。防潮壁の基礎や港湾設備などでコンクリートの沈下や段差ができた。約3分の津波も到達した。